

* 女神さまとイノシシ *

縄文人は、土器に女神さまや動物の立体的な模様を描いたり、動物の土偶をつくることもあります。この飾りに、縄文人はどんなメッセージをこめていたのでしょうか。

縄文人が作った動物に、イノシシやヘビがよく登場します。イノシシは一度に5～10頭ものこどもを産む多産な動物なので、子孫繁栄や豊穡を象徴しており、女神さまの化身と考えられていたようです。また、ヘビは毒をもっていたり脱皮をするという不思議な力を持つことで神の化身と考えていたようです。また、マムシはその形が男性器を連想させることから男性の象徴ともみられています。イノシシ・ヘビともに子孫繁栄を表しているのです。

女神さまや動物が描かれている土器には、家族やムラの繁栄、自然の豊かさなどへの願いが込められているのですね。

* まつりの風景 *

王国では石を敷きつめたり、並べたりした祈りの空間が発見されています。その中には石棒をたてた例や、韮崎市女夫石遺跡のように巨石を数百年にわたり信仰の対象としていた例もあります。また、縄文時代中期になると住居の中に祭壇状に石を並べた空間も作られます。

* よみがえるいのち *

ムラのひとが亡くなると、ムラの一角に楕円形や円形の穴を掘って土葬にしていました。このとき手足を曲げ、胎児のような格好に戻して埋葬したようです。身に付けていたものを副葬したものや穴に石をめぐらしたものの(石棺墓)、土器を棺にしたもの(甕棺や埋甕)もみられます。また、赤ちゃんが亡くなると土器に納めて家の中に埋葬し、お母さんがまたぐことでお腹の中に魂が戻ってくるように祈っていたのでしょ

縄文人のメッセージはいろいろなものからよみとることができ、わたしたちの想像以上に文化的な暮らしをしていたようです。

愛情にあふれ自然とともに生き、いろいろなものに祈りをこめた縄文人たち。縄文時代で最も華やかな文化をほこる、縄文時代中期の遺跡にあふれる山梨は

まさに「**縄文王国**」なのです。



イノシシの土偶
釈迦堂遺跡
(笛吹市 甲州市)



出産の様子が描かれている土器
津金御所前遺跡(北杜市)



ヘビ



イノシシ



イノシシ・ヘビの両方が描かれた土器
一の沢遺跡(笛吹市)



埋甕
北原C遺跡
(南アルプス市)

配石遺構
金生遺跡(北杜市)



国内最古級のヒスイ製
大珠の副葬品
天神遺跡(北杜市)

